

広告

企画制作：
株式会社読売広告

20~30年後を見据えた

インプラント治療

乳歯・永久歯に続く「第3の歯」とも呼ばれている歯科インプラント。失った歯がまた生えてきたような自然な感覚が多くの人々に喜ばれて、近年では治療を受ける人も急速に増加しているという。だが手術を伴う治療のため、インプラントを検討しながらも躊躇してしまう人が多いのも事実だ。インプラント治療とはどういったものか、医院を選ぶ際にはどんなことに注意すればいいのか。今回は、日本口腔インプラント学会理事の『医療法人 加来歯科』の加来敏男院長に、最新のインプラント治療について話をうかがった。

まず、インプラントとはどのような治療なのか、ご説明いただけますか？

はい。インプラント治療の語源である「インプラントーション」とは、埋め込みという意味です。虫歯や歯周病などで歯を失った場所に人工の歯根を埋め込んで、その上に人工の歯を固定する治療のことです。見た目や噛み合わせなどを天然の歯とほとんど変わらずに再現できるため、入れ歯などで感じる装着時の違和感などもありませんし、硬いものでも食べられます。また新しい歯が生えてきたような感覚といえは、わかりやすいかもしれませんね。インプラント治療は昔からあったのですが、一般的に普及はじめたのは約20年前くらいからです。原理などは同じですが、現在は治療技術や使われる材質にも最新のものが登場して、より安全で質の良い治療法へと進化しています。

ではインプラントの特徴と、治療できないケースなどがあれば教えてください。

たとえば、1、2本の歯が抜けた場合、今まではブリッジという治療法が一般的でした。文字通り、抜けた歯の両隣にある歯を橋げたに見立てて欠損部の人工歯を繋いで支えるという方法ですが、これだと被せ物の土作りのために両隣の歯を削る必要があります。たとえそれが虫歯もない健康な歯でもです。ですがインプラントなら、抜けた部分だけに新しい歯を入れるために、周囲の歯にダメージを与えないで済むのです。しかも、歯を入れる材料である樹脂や金属の

歯が動くために止め金を掛ける歯の負担が大きくなり、その歯がダメになり、義歯がさらに大きくなり、最終的に総入れ歯になってしまいます。さらに入れ歯は、外出でのお手入れも苦労させられるようになります。ですがインプラントは人工の歯を歯根に固定していますから、違和感や異物感もなく普通に食べたり話せたりできる手入れをすれば半永久的に使えるところも大きなメリットですね。ただ、



日本口腔インプラント学会理事
医療法人 加来歯科 院長
加来 敏男 先生

昭和54年3月九州大学歯学部卒業・昭和54年4月九州大学歯学部大学院入学・昭和58年3月、同終了・昭和58年4月九州大学歯学部第2補綴科助手・昭和62年4月加来歯科医院開業(3代目)・平成18年医療法人 加来歯科 開設・平成28年4月九州大学歯学部 臨床教授(義歯補綴・インプラント科) 歯学博士

骨から支えることで異物感のない自然な感覚に

大切なのは20年先、30年先を考えること

—診断の方法やインプラント技術の現状についてはいかがでしょうか。

昔はパノラマレントゲンで歯や骨、顎関節などの状態を写真として判断していましたが、現在では歯科用CTを使うことで歯や顎の状態を三次元の高画質デジタル画像で把握することが可能になりました。ですから、顎の骨の厚みや高さなどのがくらいかなどに神経が通っているかなどの術前診断が正確におこなえ患者さんにもパソコンの画面を見せながらいて、簡単に説明できるようになっています。それからシミュレーションソフトで顎骨の立体

止め金などが口の中にあるため、どうしても装着時に違和感があります。また義歯が動くために止め金を掛ける歯の負担が大きくなり、その歯がダメになり、義歯がさらに大きくなり、最終的に総入れ歯になってしまいます。さらに入れ歯は、外出でのお手入れも苦労させられるようになります。ですがインプラントは人工の歯を歯根に固定していますから、違和感や異物感もなく普通に食べたり話せたりできる手入れをすれば半永久的に使えるところも大きなメリットですね。ただ、

止めた金などがあるため、どうしても装着時に違和感があります。また義歯が動くために止め金を掛ける歯の負担が大きくなり、その歯がダメになり、義歯がさらに大きくなり、最終的に総入れ歯になってしまいます。さらに入れ歯は、外出でのお手入れも苦労させられるようになります。ですがインプラントは人工の歯を歯根に固定していますから、違和感や異物感もなく普通に食べたり話せたりできる手入れをすれば半永久的に使えるところも大きなメリットですね。ただ、

止めた金などがあるため、どうしても装着時に違和感があります。また義歯が動くために止め金を掛ける歯の負担が大きくなり、その歯がダメになり、義歯がさらに大きくなり、最終的に総入れ歯になってしまいます。さらに入れ歯は、外出でのお手入れも苦労させられるようになります。ですがインプラントは人工の歯を歯根に固定していますから、違和感や異物感もなく普通に食べたり話せたりできる手入れをすれば半永久的に使えるところも大きなメリットですね。ただ、

止めた金などがあるため、どうしても装着時に違和感があります。また義歯が動くために止め金を掛け

る歯の骨が健康というのがインプラントの大前提ですから、歯茎が歯周病だった場合はその治療をきちんと済ませてから手術を行います。そうしないと歯周病菌によりインプラント周囲炎を起こしてしまいます。

止めた金などがあるため、どうしても装着時に違和感があります。また義歯が動くために止め金を掛け

る歯の骨が健康というのがインプラントの大前提ですから、